

2020年12月期第2四半期
決算説明資料

2020年8月14日
株式会社ギフトィ

-
- I. 決算ハイライト
 - II. 2020年12月期第2四半期実績
 - III. サービス別業績
 - IV. 2020年12月期業績予想〔2019年12月期通期決算説明資料より再掲〕
 - V. 事業とサービスの概要〔P53、54を除き、2019年12月期通期決算説明資料より再掲〕

Appendix

I. 決算ハイライト

「eギフトプラットフォーム事業」として、4つのサービスを展開

① gifteeサービス 個人向け

ちょっとしたお礼やお祝いの気持ちを伝えたい時、相手の住所が分からなくても気軽にギフトを贈れるサービス。LINEやFacebookで繋がっている友達に、カフェやコンビニの商品をプレゼントできる。

② giftee for Businessサービス 法人向け

法人が自社の顧客に対し、キャンペーンプレゼントやアンケート謝礼としてeギフトを送付できるサービス。

③ eGift Systemサービス 小売店向け

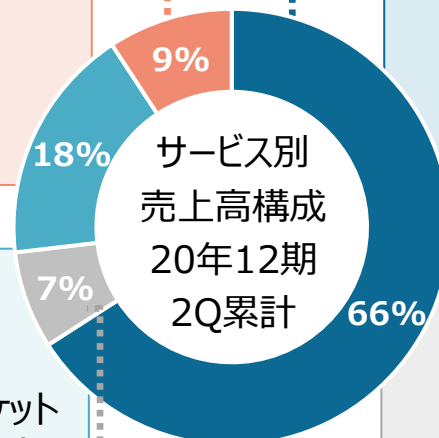
店頭で引き換えることのできるデジタルのギフトチケットの生成と配信、およびそのギフトチケットを自社サイト上で販売できるシステム。「スターバックスコーヒー」「ローソン」「ミスタードーナツ」等へ導入済み。

④ 地域通貨サービス

■ Welcome! STAMP
地域通貨の電子化事業等



【事例】
しまとく通貨（長崎県離島市町）
しまぼ通貨（東京都島しょ地域）
e街ギフト、旅先納税システム（瀬戸内市）
駅から観タクン（JR東日本）



発券から流通まで一気通貫で提供する、eギフトのプラットフォームを構築

eギフトプラットフォーム

発券

CP/Contents Partner
eギフト発行企業

流通

DP/Distribution Partner
eギフト利用企業

飲食・流通・小売企業

③eGift Systemサービス



等

④地域通貨サービス

eギフト発行会社自社サイト



等

①gifteeサービス

個人向け

提携企業



法人向け

②giftee for Businessサービス

for Business

保険

インター
ネット

カード

銀行
証券

自動車

等

決算ハイライト

2020年12月期第2四半期（累計）実績

giftee*

■ 業績ハイライト

売上高	819	百万円	前年同期比	△	6.3	%
営業利益	186	百万円	前年同期比	△	39.3	%
営業利益率	22.8	%	前年同期比	△	12.4	PP
経常利益	181	百万円	前年同期比	△	40.9	%
四半期純利益	119	百万円	前年同期比	△	43.1	%

■ 主要計数

流通額	42	億円	前年同期比	+	28.5	%
gifteeサービス会員数	150	万人	前年同期比	+	19.3	%
eギフト利用企業（D P）数	495	社	前年同期比	+	33.4	%
eギフト発行企業（C P）数	102	社	前年同期比	+	45.7	%

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症に伴う法人キャンペーンの延期、並びに2019年の第1四半期に大型キャンペーンに係る一時的収益およびシステム開発に係る収益が多く発生していた影響により前年同期比6.3%減の819百万円。
- 営業利益は、主に人員増加に伴い販管費が15.1%増加していることから、前年同期比39.3%減の186百万円。

決算ハイライト

2020年12月期第2四半期（3ヶ月）実績

■ 業績ハイライト〔参考値〕

売上高	367 百万円	前年同期比	△	2.9 %
営業利益	50 百万円	前年同期比	△	24.9 %
営業利益率	13.9 %	前年同期比	△	4.1 PP
経常利益	51 百万円	前年同期比	△	25.3 %
四半期純利益	31 百万円	前年同期比	△	31.0 %

■ 主要計数

流通額	18 億円	前年同期比	+	10.1 %
eギフト利用企業（D P）数	349 社	前年同期比	+	7.7 %

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、法人顧客の予算・施策見直しによるキャンペーンの延期、来店/来場促進キャンペーンの減少等により前年同期比2.9%減の367百万円。
- 営業利益は、売上高が減少、販管費が2.7%の微増となっていることから、前年同期比24.9%減の50百万円。

決算ハイライト

2020年12月期通期業績予想について

■ 業績予想 (2020年2月14日公表)

売上高	2,583	百万円	前期比	+ 46.2 %	進捗率	31.7 %
営業利益	1,041	百万円	前期比	+ 93.5 %	進捗率	17.9 %
営業利益率	40.3	%	前期比	+ 9.8 PP	進捗率	-
経常利益	1,041	百万円	前期比	+ 99.1 %	進捗率	17.5 %
四半期純利益	722	百万円	前期比	+ 87.8 %	進捗率	16.5 %

■ 主要計数

流通額	96	億円	前期比	+ 41.2 %	進捗率	43.8 %
-----	-----------	----	-----	----------	-----	--------

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、法人顧客の予算・施策見直しによるキャンペーンの延期、来店/来場促進キャンペーンの減少等によるダウンサイドの影響がでたことにより、当第2四半期累計の売上高進捗率は31.7%となっております。
- 一方、コロナ禍で抑制されていた法人キャンペーンの再開、企業活動のデジタル化に伴う新たなニーズ、政府や地方自治体の経済支援策等によるアップサイドの効果も見込まれることから、業績予想は据え置きます。

決算ハイライト 新型コロナウイルス感染症の影響と対策

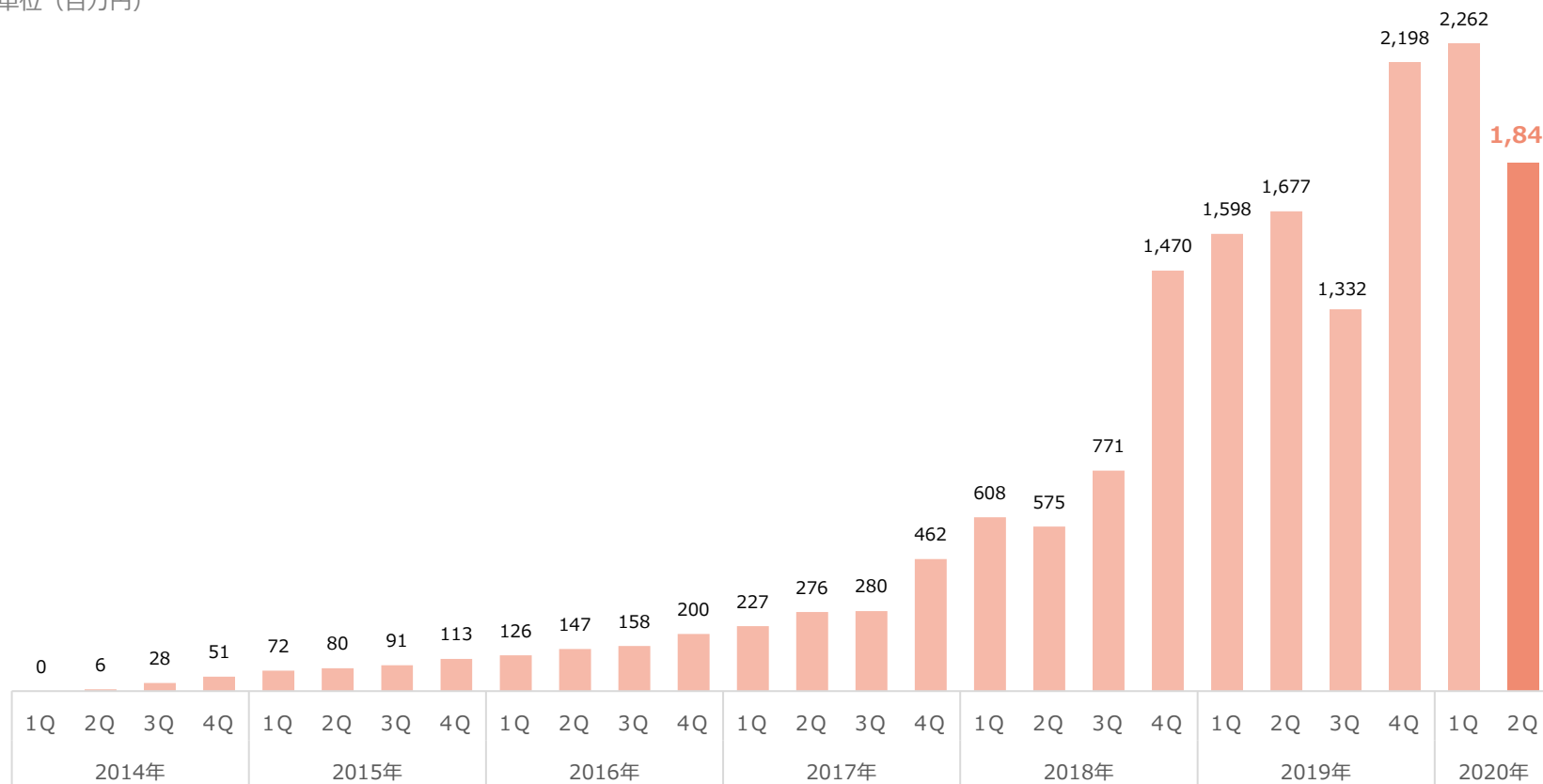
サービス	足元の状況	今後の対応策
giftee for Business	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算・施策見直しによるキャンペーンの延期（特に大型キャンペーン延期の影響大） ● キャンペーンツール（giftee campaign platform）を活用した案件の減少 ● 来店/来場促進キャンペーン利用の減少 ● オンラインを活用した継続施策については一定実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウィズ・アフターコロナにおける施策再開の察知・提案、及びこれまで抑制されていた法人販促予算の獲得（特に大型キャンペーンやキャンペーンツール活用案件） ● 企業活動のデジタル化（例：Web明細への切り替え、アンケートのWeb化、オンライン面談等）に伴うニーズへの対応 ● サンプルング等の新規サービスの提案強化
eGift system	<ul style="list-style-type: none"> ● 法人キャンペーン減少に伴うeギフト流通額の減少 ● eGift system新規導入の一時見送り ● eGift system新規導入の前向きな検討 ● 「Instagram」との提携による中小ビジネス支援の開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集客ニーズの高まりを受けたオンライン施策（顧客の利用頻度アップのためのサブスクリプション、eスタンプカードサービス等）の提案強化 ● 既存業態以外への導入提案の強化
giftee	<ul style="list-style-type: none"> ● 直接ギフトを渡せないことによる需要増に伴う流通額の増加（特に母の日や父の日等のイベント需要が増加） 	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリリニューアルによるユーザビリティ向上 ● イベントに合わせたSend1Get1等のキャンペーン実施による流通額増加
地域通貨サービス 他	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入予定案件の開始時期の延期 ● 地方自治体の経済支援策等による引き合いの増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域通貨サービス提案のさらなる促進 ● すでに電子スタンプを利用している自治体への電子スタンプ再活用施策の提案 ● 政府や地方自治体への経済支援策での活用の提案

Ⅱ. 2020年12月期第2四半期実績

2020年12月期第2四半期実績 流通額の四半期推移

第2四半期流通額は、コロナウイルス感染症の影響で、giftee for Businessサービスにおける流通額は減少したものの、直接ギフトを渡せないことによる需要増に伴い、個人向けの流通額が伸びたことにより、前年同期比+10.1%の1,846百万円。

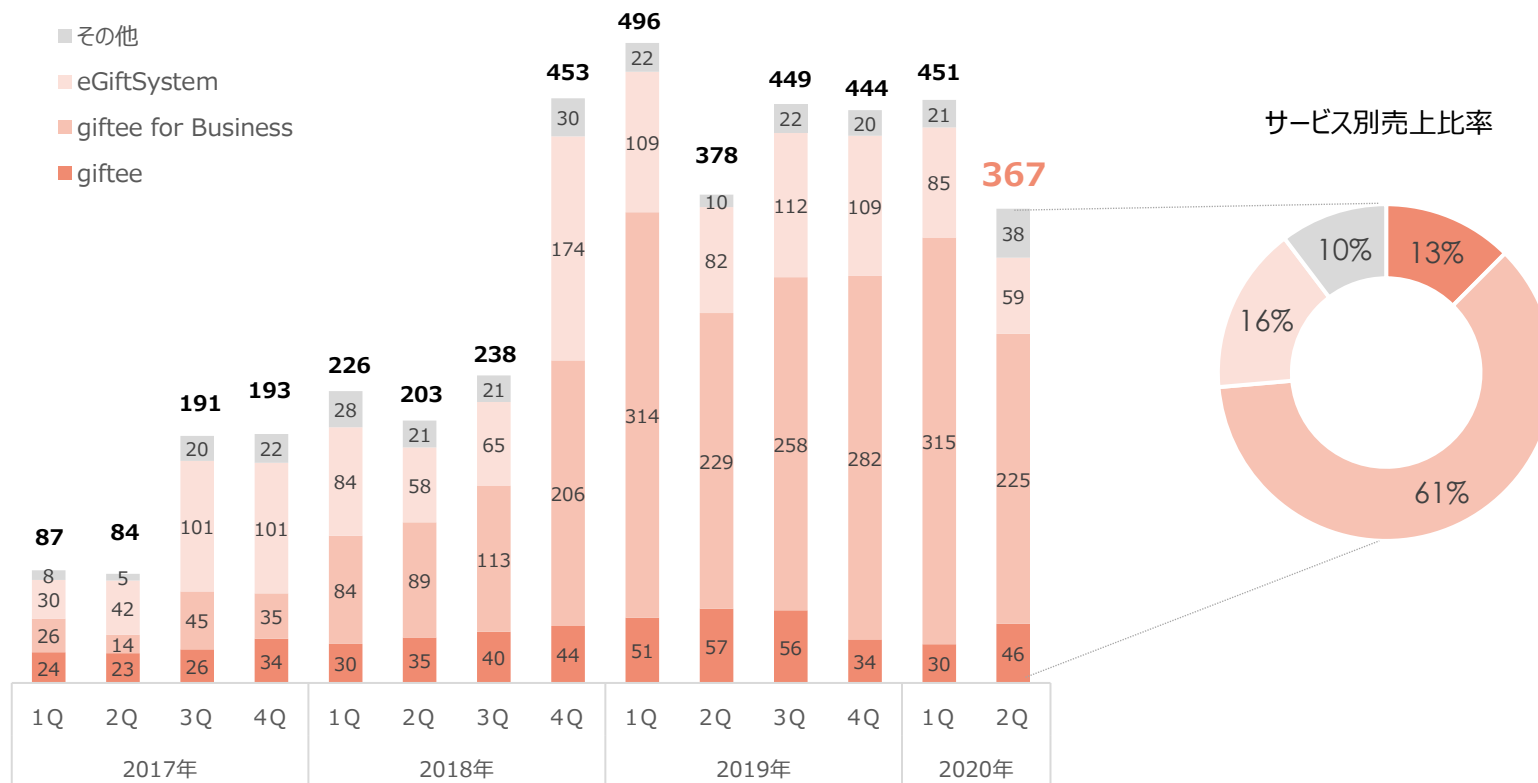
単位（百万円）



2020年12月期第2四半期実績 売上高の四半期推移

第2四半期売上高は、地域通貨サービスによるその他売上は増加したものの、コロナウイルス感染症の影響により、法人キャンペーンに伴う収益及び流通額に紐づかないシステム開発等に係る収益が減少し、前年同期比△2.9%の367百万円。

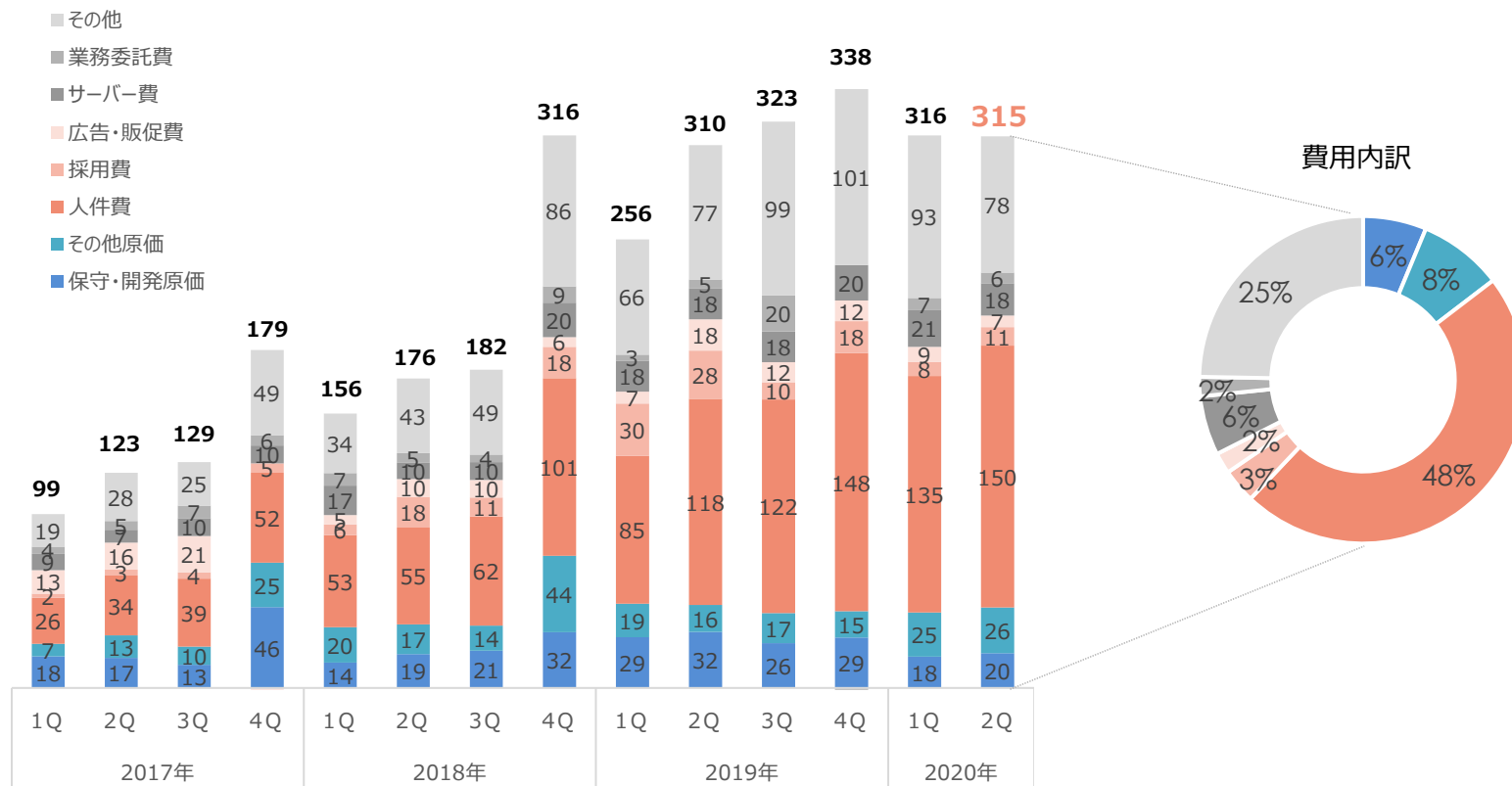
単位（百万円）



2020年12月期第2四半期実績 売上原価、販売費および一般管理費内訳

第2四半期の売上原価、販管費は、人件費は増加したものの、保守・開発原価の減少、採用費、広告・販促費の圧縮により、前年同期比+1.6%の315百万円。前四半期比ではほぼフラット。

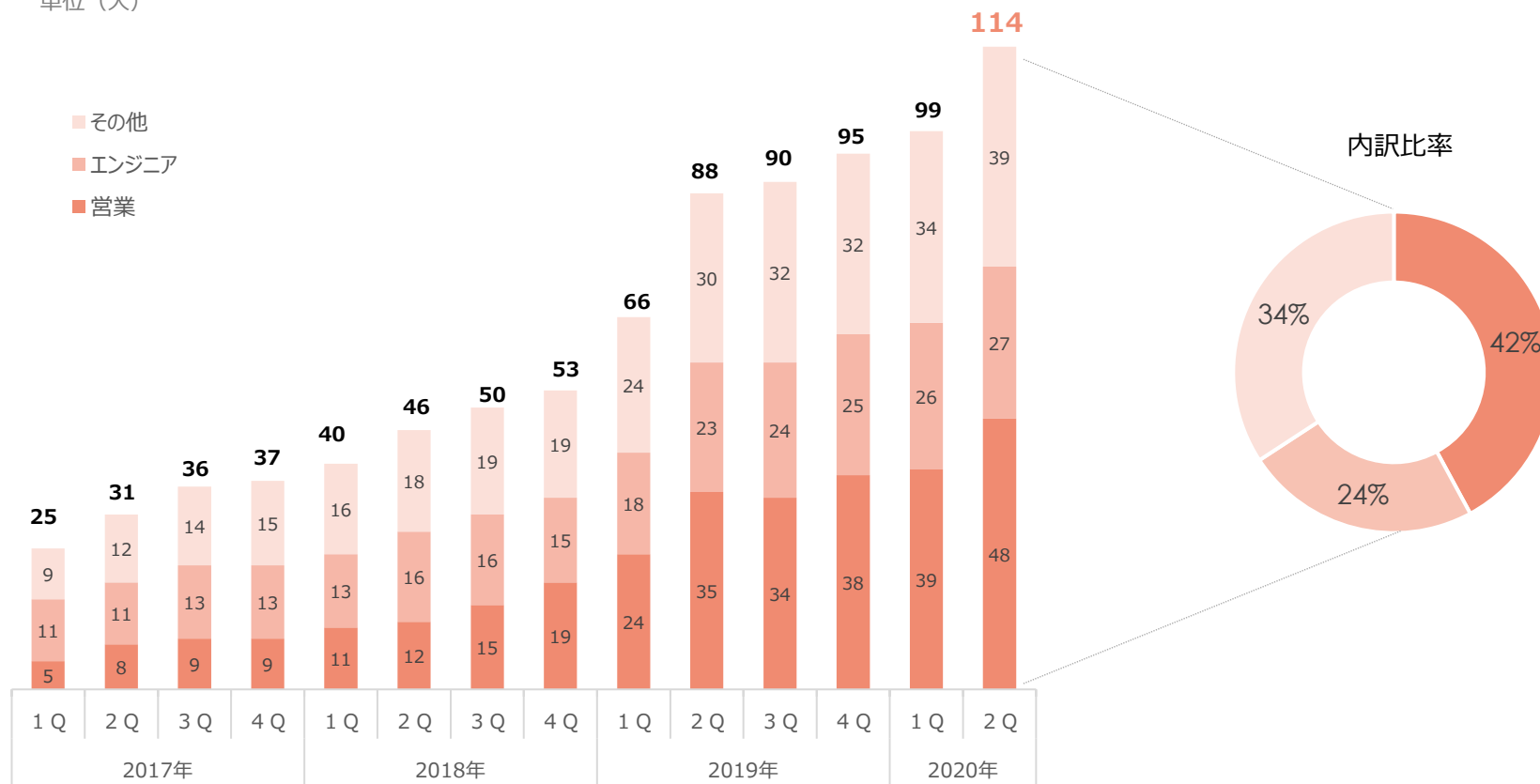
単位（百万円）



2020年12月期第2四半期実績 人員数の推移

人員数は前年同期比+29.5%、前四半期比+15.2%の114名と順調に増加。
2020年12月期もエンジニア、営業を中心に採用を進める。

単位 (人)



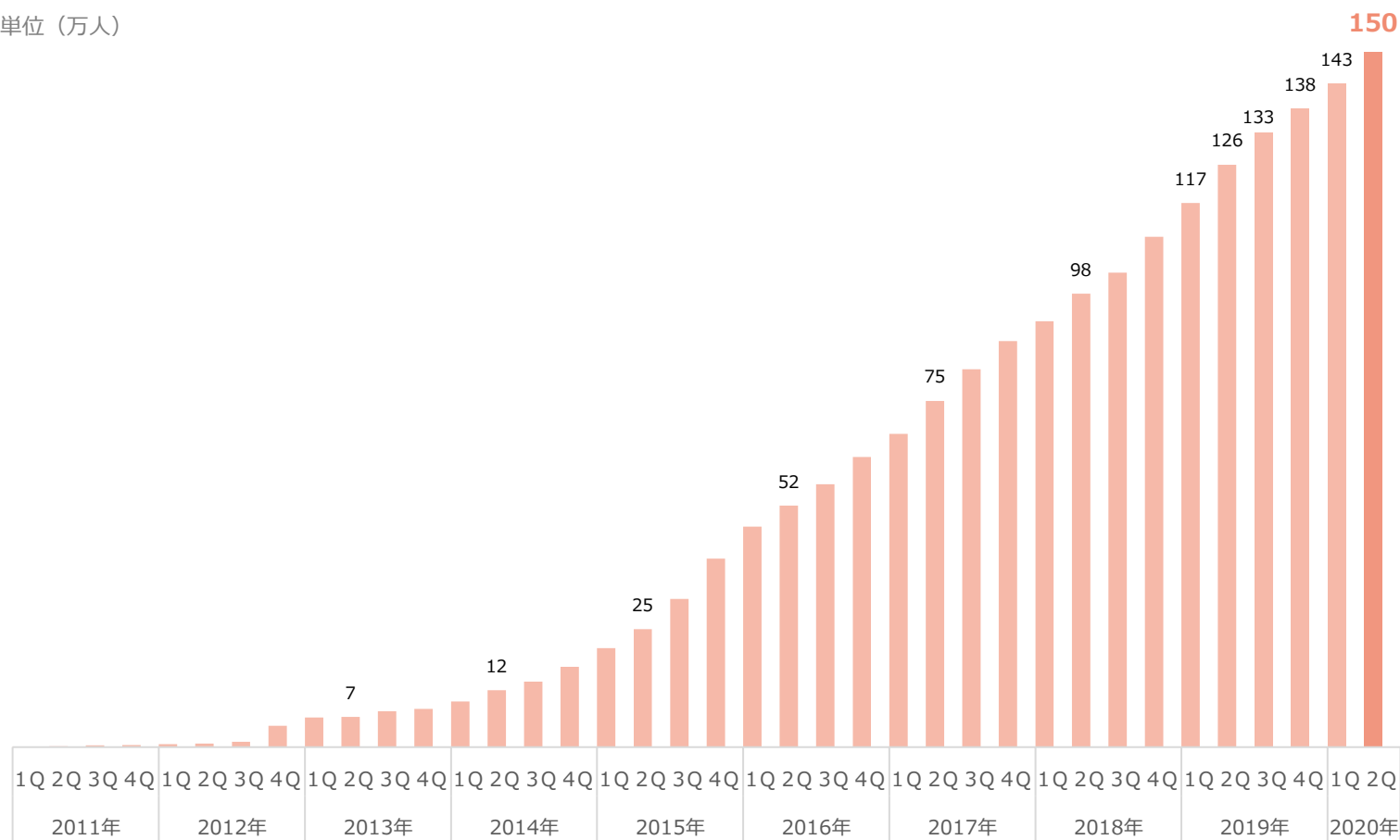
Ⅲ. サービス別業績概要

サービス別業績概要

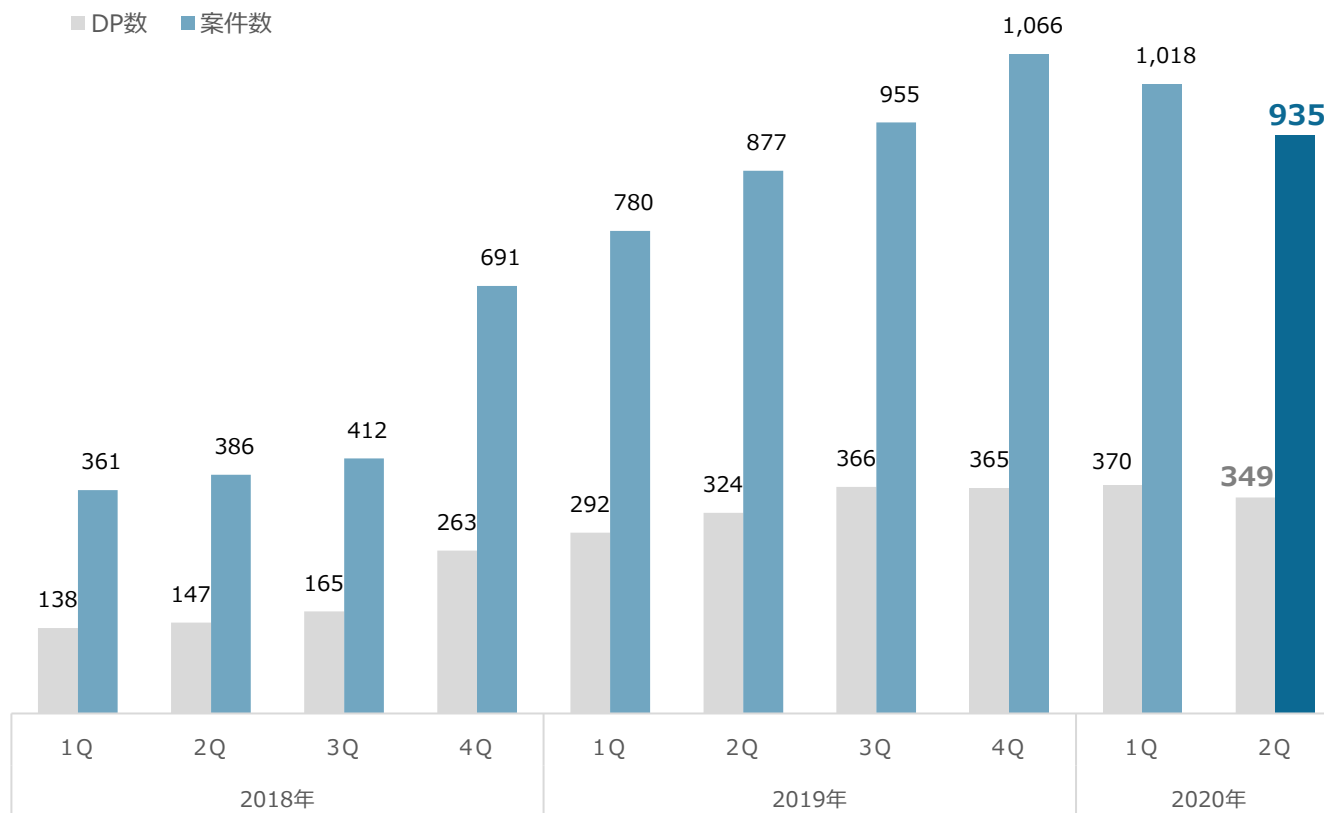
gifteeサービス ～会員数 四半期末数推移～

gifteeサービスの会員数は前年同期比+19.3%の150万人と、順調に推移。

単位 (万人)



giftee for Businessサービスの第2四半期のeギフト利用企業(DP)数は、前年同期比+7.7%の349社。コロナウイルス感染症の影響により、前四半期比ではDP数/件数は減少したものの、継続顧客の積み上がりにより前年同期比ではDP数/件数は増加した。



※DP数は各四半期のユニーク利用企業数。

LINEセールスプロモーションのTechnology Partnerに認定。

メーカー向けのキャンペーンツール「giftee LINEサンプリング」を開発。

LINE上でチケットを配付し、コンビニエンスストア等の店頭で交換できるサンプリングサービスの提供を開始。

【キャンペーン画面フロー例】

①キャンペーン応募画面



②アンケート画面



③抽選画面



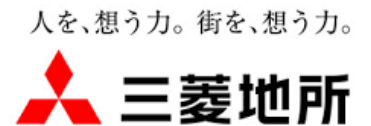
④当落画面



サービス別業績概要

giftee for Business サービス ~eギフト利用企業（DP） 様例~

giftee*

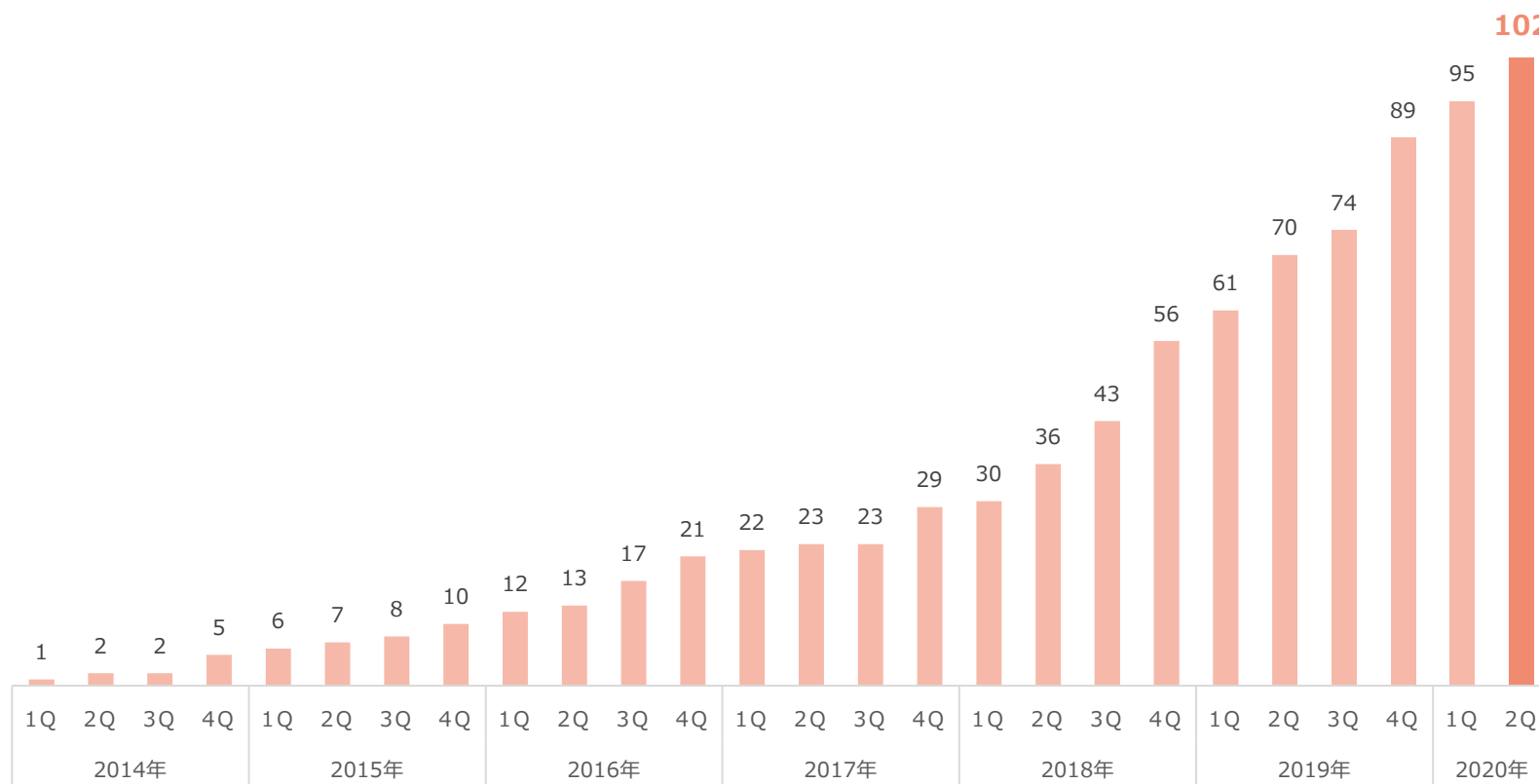


業種を問わず様々な用途でeギフトを利用頂いており、引き続き各業界にアンテナを張り、新用途開拓、事例展開を推進する。特に、コロナ影響によるリモート化、企業DX化の進展に伴う新需要が発生しており、需要察知と刈り取りに注力する。

		認知向上/ユーザー獲得	契約/成約	利用促進/リテンション	新規用途/その他
Offline	利用例	認知向上・ユーザー獲得 資料請求/DM セミナー参加 来店・見積もり 友人紹介	契約・成約 契約成約 商品購入	契約更新促進 プラン見直し 機種変更 来店・窓口相談 上位契約切り替え	その他用途 季節キャンペーン アンケート謝礼 レビュー投稿 福利厚生 広告効果測定 コスト削減(電子化) お詫び 業界横断
	利用業界例	保険・銀行・証券 情報通信 自動車 不動産	保険・銀行・証券 情報通信 自動車 メーカー	保険 情報通信 自動車	業界横断
Online	利用例	認知向上 Twitterリツイート メルマガ配信 資料請求 セミナー参加 ユーザー獲得 アプリインストール web会員登録 LINE友達登録 友人紹介 見積もり	契約・成約 成約 Web商品購入 宿泊予約 ゲーム内課金	Web・アプリ利用促進 初回ログイン 特定機能利用 リニューアル告知 ポイント交換 クーポン配信 ロイヤルティ向上 ユーザー還元 休眠会員対策	DX化、リモート化、コロナ対策 オンラインイベント化 Web会員誘導 巣ごもり応援 デジタル取引促進 顧客離れ防止 抽選会デジタル化 リモート支援(福利厚生) オンライン株主総会 お土産 業界横断
	利用業界例	インターネット・ゲーム メーカー 保険・銀行・証券 クレカ	インターネット・ゲーム メーカー 保険・銀行・証券 旅行・観光	保険・銀行・証券 インターネット・ゲーム ヘルスケア エネルギー・不動産	業界横断

eGift Systemサービスのeギフト発行企業(CP)は、前年同期比+45.7%の102社となる。

単位 (社)



ご導入企業様事例

セイコーマート様

北海道および茨城県、埼玉県に約1,170店舗を展開



北海道限定



<券面イメージ>

花キュービット様

全国加盟店は約3,000店舗



<券面イメージ>

eギフト発行企業（CP）への新規サービスとして、サブスクリプション・回数券サービスの提供開始

サーティワン アイスクリーム

31日間毎日レギュラーシングルサイズのアイス
を1個楽しめる定額プラン他。



大戸屋

お惣菜5つのセットの5枚セット。



<券面イメージ>

地方自治体の経済支援策導入事例

- 前橋市内店舗応援電子チケット
群馬県前橋市内の加盟店で利用可能な
10,000枚の電子チケットを5,000人に発行



<電子スタンプ利用イメージ>

- 秋田県プレミアム飲食券
秋田県内の約2,000店で利用可能な
「秋田県プレミアム飲食券」を電子化し発行



<券面、電子スタンプイメージ>

IV. 2020年12月期業績予想

〔2019年12月期通期決算説明資料より再掲〕

今後の成長戦略 ~eギフトプラットフォームについて~

eギフトの発券から流通まで、一気通貫で提供するプラットフォームを構築
CP、DP、個人利用者が相互に作用しながら拡大する循環型ビジネスモデル

eギフトプラットフォーム

豊富かつ魅力的なコンテンツを武器に
ディストリビューションを強化

発券 eギフト発行企業 (CP)

③ eGift System
飲食/流通/小売/サービス

デジタル商品

CP数
89社

流通額 : 68億円

流通 eギフト利用企業 (DP)

個人向け ① giftee*
STARBUCKS baskinBRobbins サラワシアイスクリーム 等

法人向け ② giftee* for Business
保険 インターネット カード 銀行証券 自動車

会員数
138万人

DP数
643社

ディストリビューションを武器に
コンテンツを開拓・強化

* 会員数、CP数は2019年12月末現在。
DP数は2019年12月期通期のユニーク利用企業数。

eギフトプラットフォームの拡大

- eギフト発行企業（CP）数の拡充
- eギフト利用企業（DP）数と流通額の拡大
- 新規サービスの開発・展開

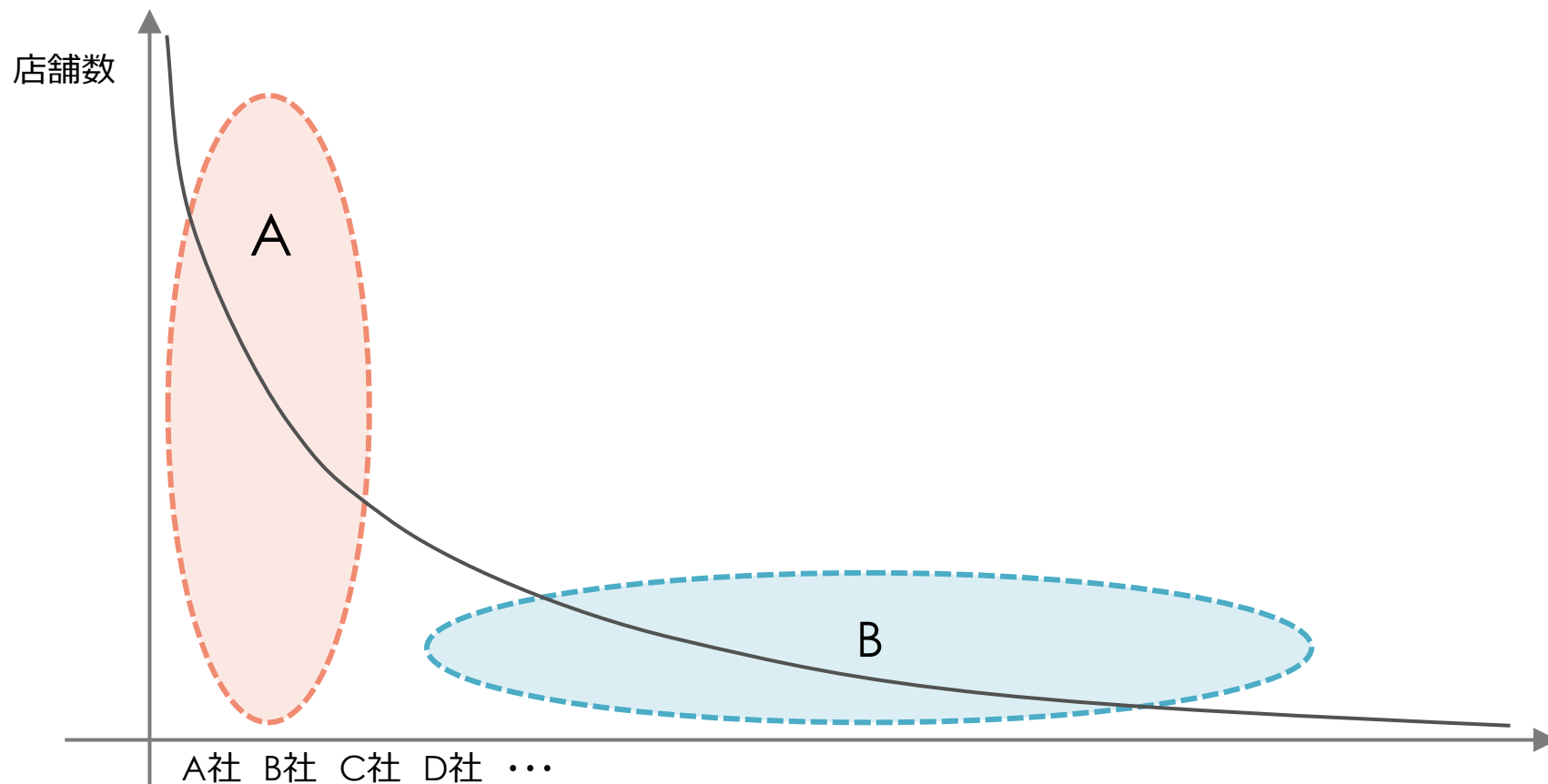


地理的な横展開

- ギフティマレーシア社の設立
- ASEAN展開

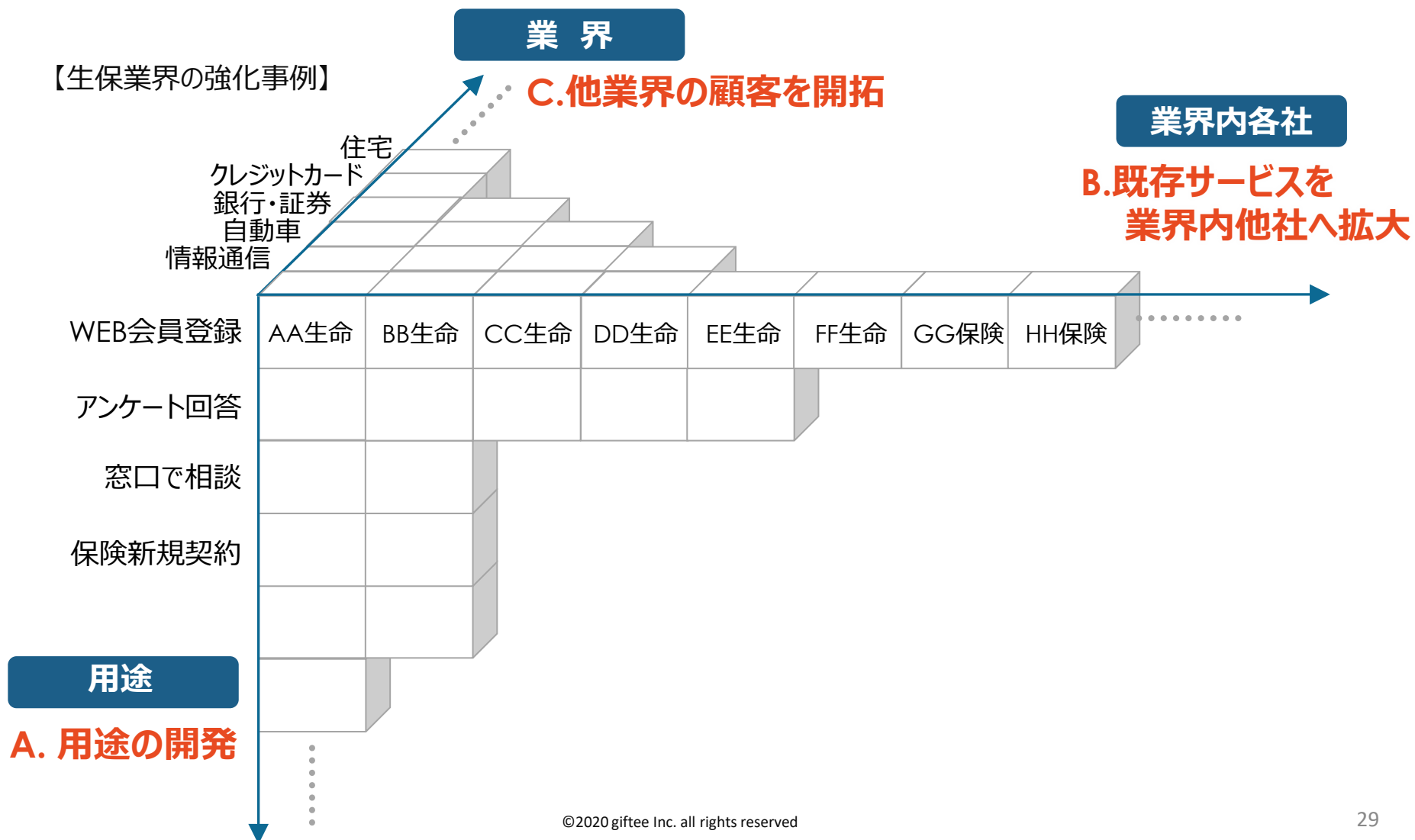
今後の成長戦略 ～新たなeギフト発行企業（CP）の拡充～

- A) 全国に出店し、数百円からの魅力的な商材を持つeギフト発行企業（CP）、
- B) 一定規模の店舗展開、地域特性等のある魅力的な商材を持つeギフト発行企業（CP）の2軸へアプローチしていく。



今後の成長戦略 ～eギフト利用企業（DP）と流通額の拡大～

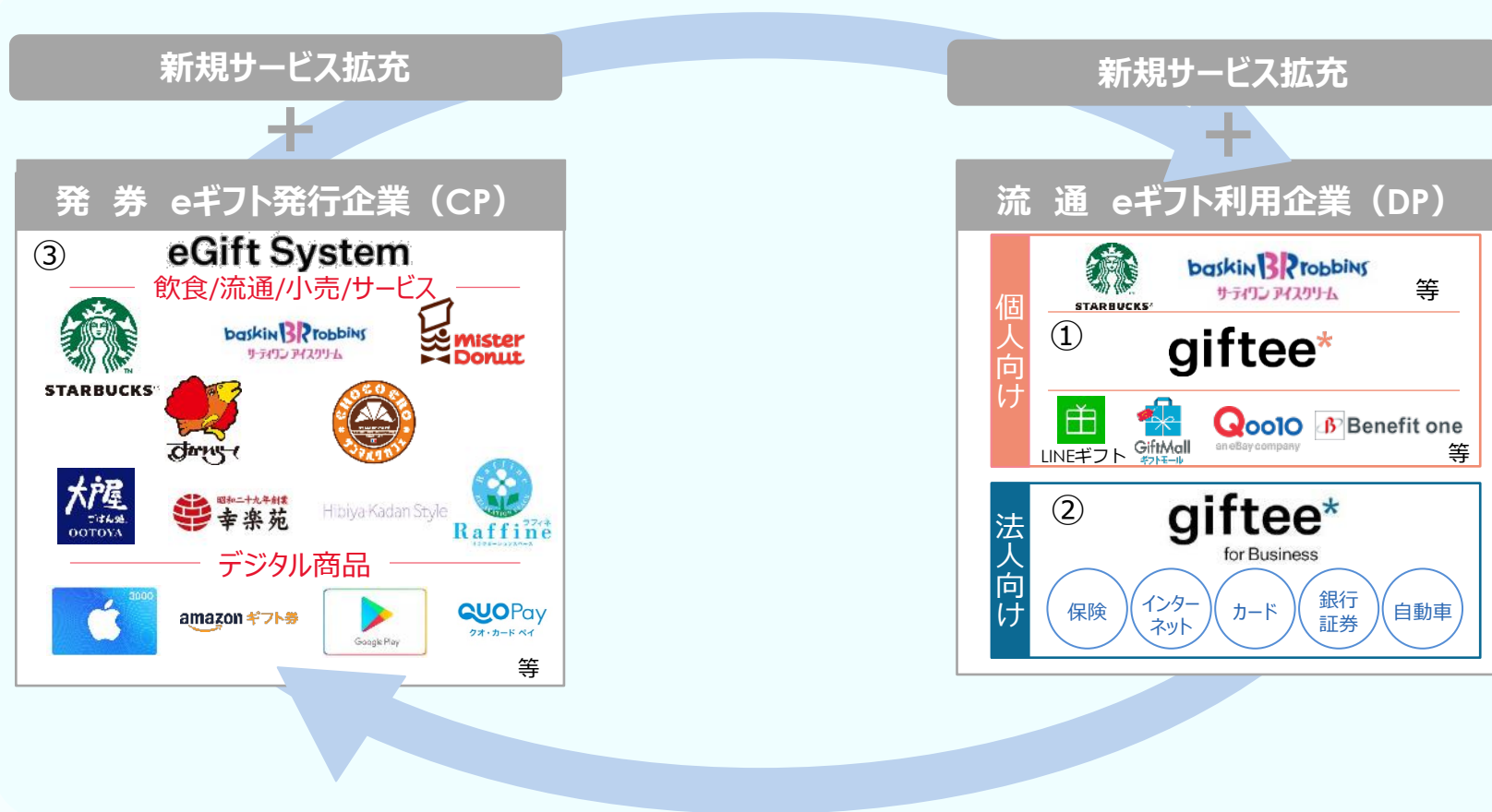
A.企業側の利用用途の開発、B.業界内各社への展開 C.他業界の開拓の3軸でビジネスを拡大。



今後の成長戦略 ～新規サービスの開発・展開～

eギフトプラットフォームサービスの利用者に対して新規サービスを提供することで、プラットフォームの利用価値を高めるとともに、収益の多様化を図る。

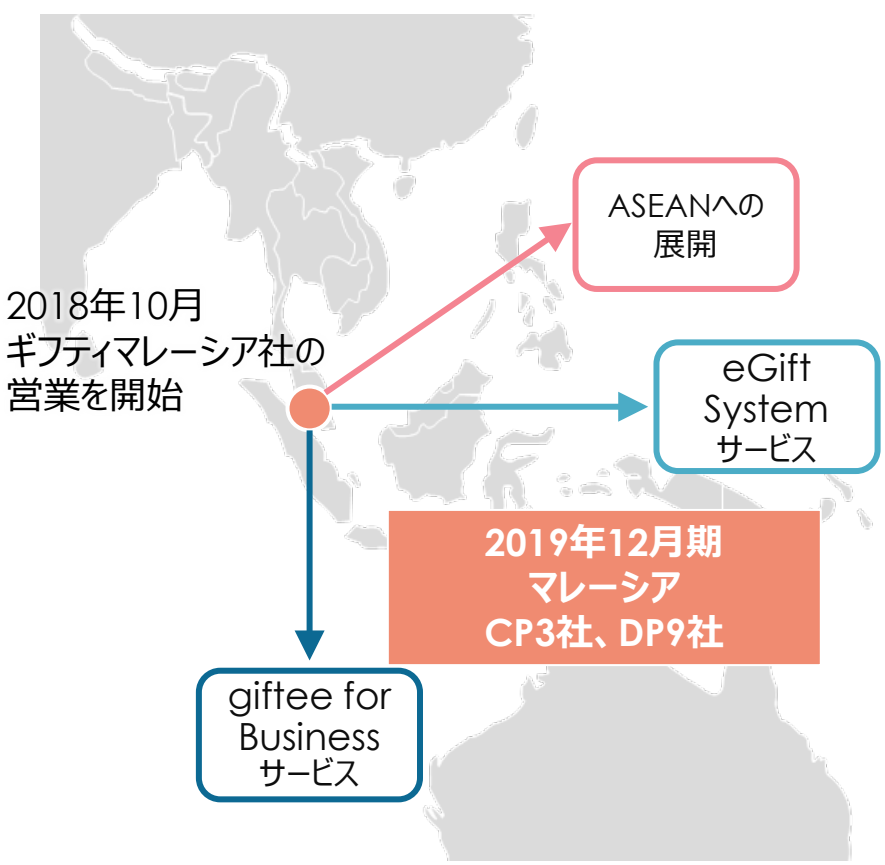
そのための人員増員及び戦略的M&Aも実施していく方針。



2020年12月期業績予想
 今後の成長戦略 ～地理的な横展開～

現地法人ギフトマレーシア社を核に、ASEANに展開

2019年12月期実績



eギフト発行企業 (CP) 3社	eギフト利用企業 (DP) 9社
マレーシア国内134店舗 日本食チェーン 	Lazada Quube Presto Mall
マレーシア国内200店舗以上 カジュアルティーチェーン 	UOB Pringles Colgate
マレーシア国内全店舗 ドーナツチェーン  	Isetan Rewardz Kim Realty

2020年12月期業績予想 2020年12月期業績予想概要

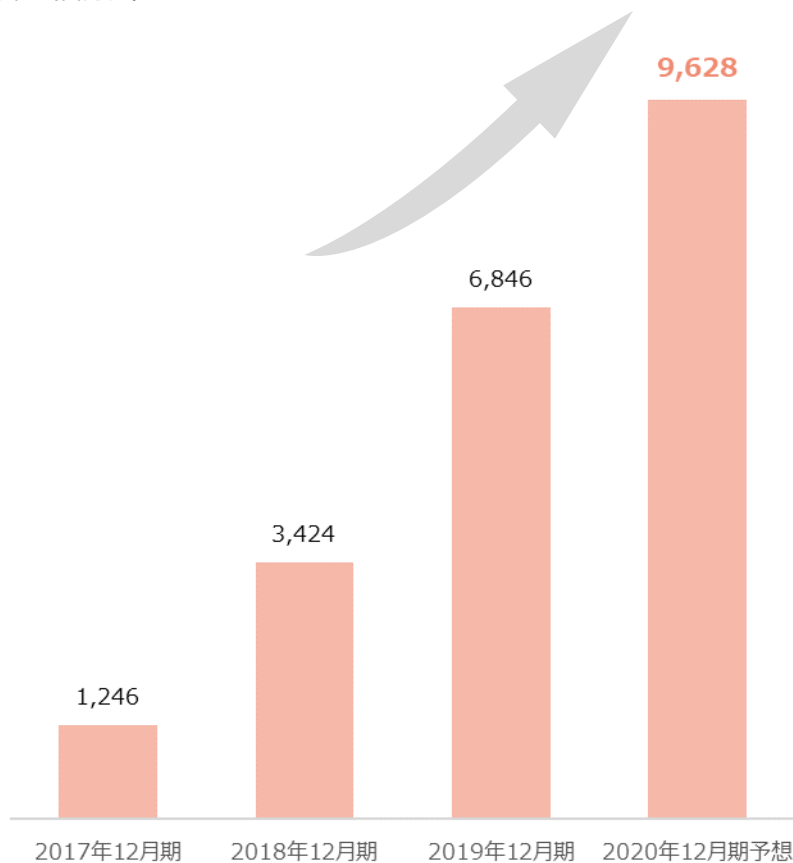
流通額は前年同期比41.2%増の96億円、
売上高は前年同期比46.2%増の25億円、営業利益は同+93.5%の10億円を目指す。

単位（百万円）	2020年12月期（2020年1月～12月）		
	業績予想	2019年12月期 通期実績	増減率
売上高	2,583	1,767	46.2%
売上総利益	2,353	1,584	48.5%
販売費及び一般管理費	1,312	1,046	25.4%
営業利益	1,041	538	93.5%
営業利益率	40.3%	30.5%	9.8pt
経常利益	1,041	523	99.1%
当期純利益	722	384	87.8%

流通額、売上高ともに40%超の成長を見込む。

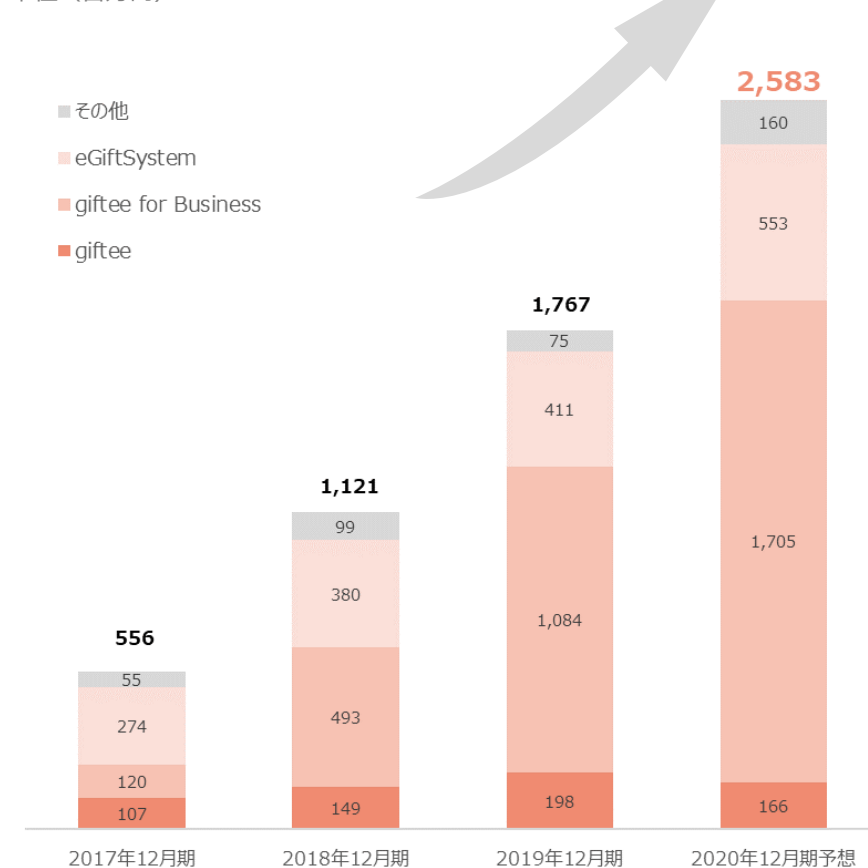
流通額

単位 (百万円)



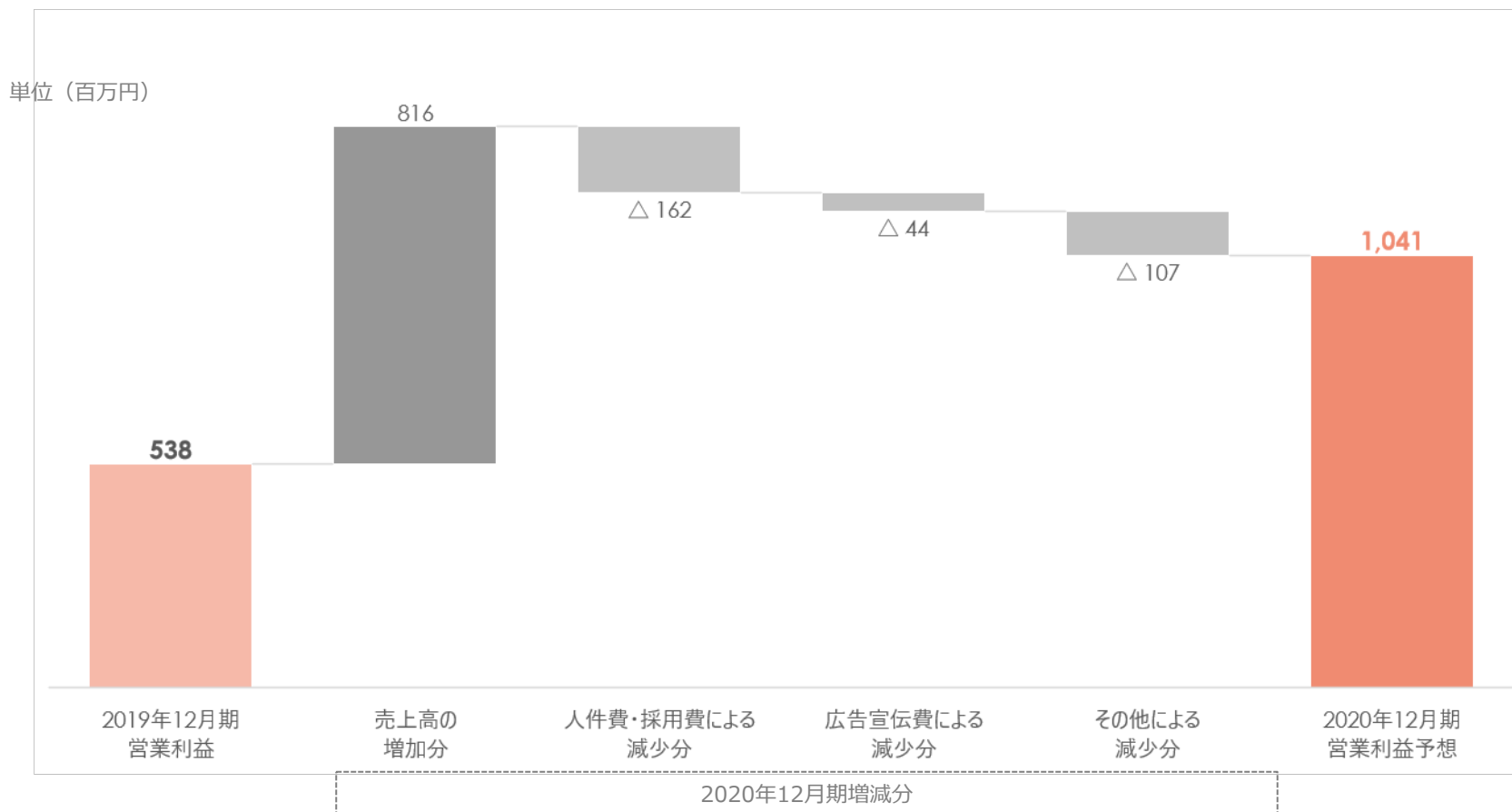
売上高

単位 (百万円)



2020年12月期業績予想 2020年12月期営業利益 変動要因

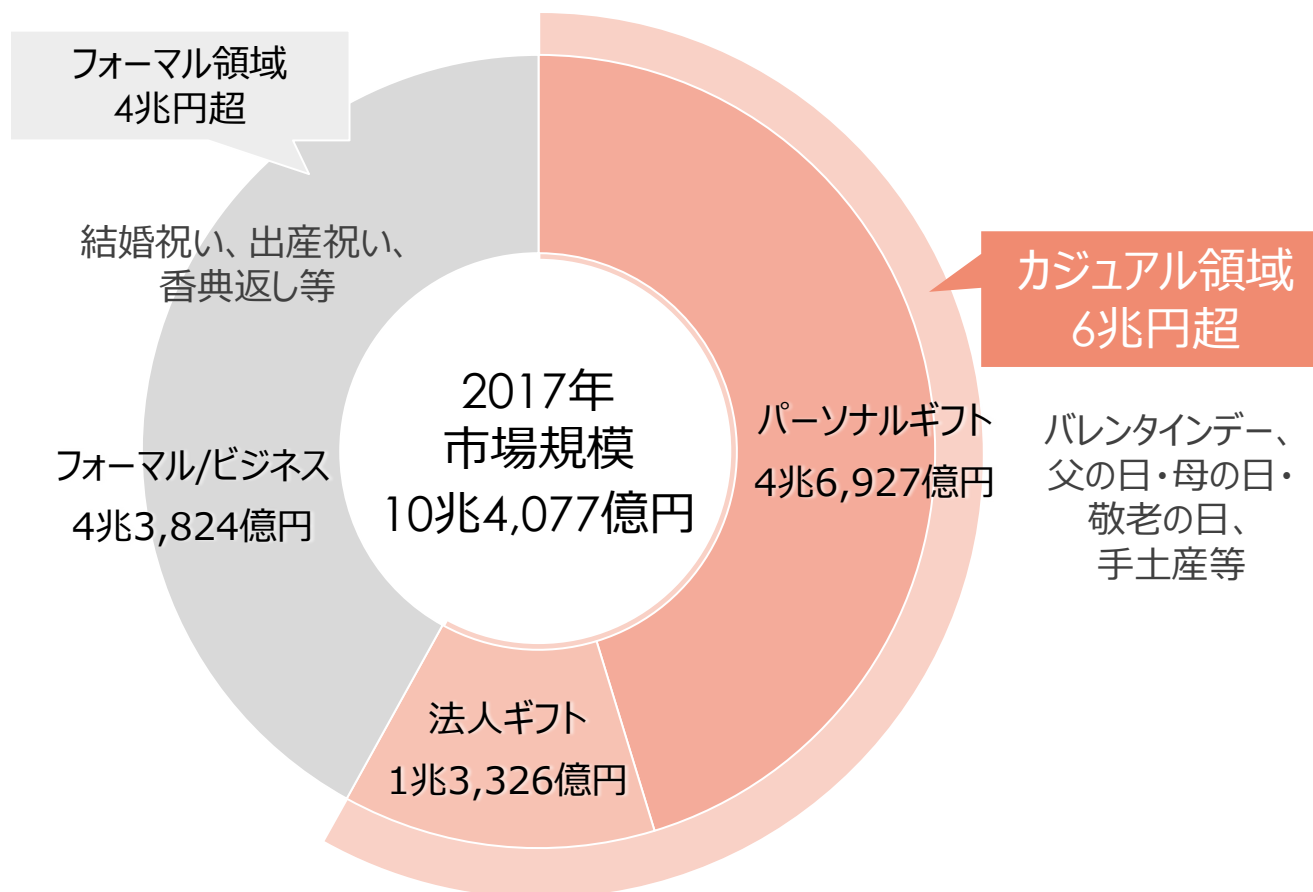
2020年12月期の営業利益は売上高の8億円増加、費用による3億円の減少分により前年同期比5億円増の10億円となる見通し。



ギフト市場

初期ターゲットとするカジュアル領域は、個人法人合わせて6兆円超。

ギフト市場構成



当社が提供する各機能ごとに様々な競合が存在するが、一気通貫でのサービス提供はほぼされていない。バリューチェーンの両側の**競合企業がパートナー**となるのが特徴。

当社バリューチェーン

	生成	流通	販売(toB)	販売(toC)
主な競合	A社		A社	A社
	E社	B社	B社	G社
	F社	C社	C社	H社
	自社生成(SI等)	自社API接続	大手インターネット通販 ギフト券	大手インターネット通販 ギフト券
		D社	D社	
協業の方向性	eギフトの仕入	—	—	eギフトの流通
代替商品	—	—	紙/PETカードの金券	紙/PETカードの金券

Mission

『ギフトで、「人與人」「人と企業」「人とまち」をつないでいく。』

3方よしモデル⇒eギフトを気軽に送りあえる世界の実現

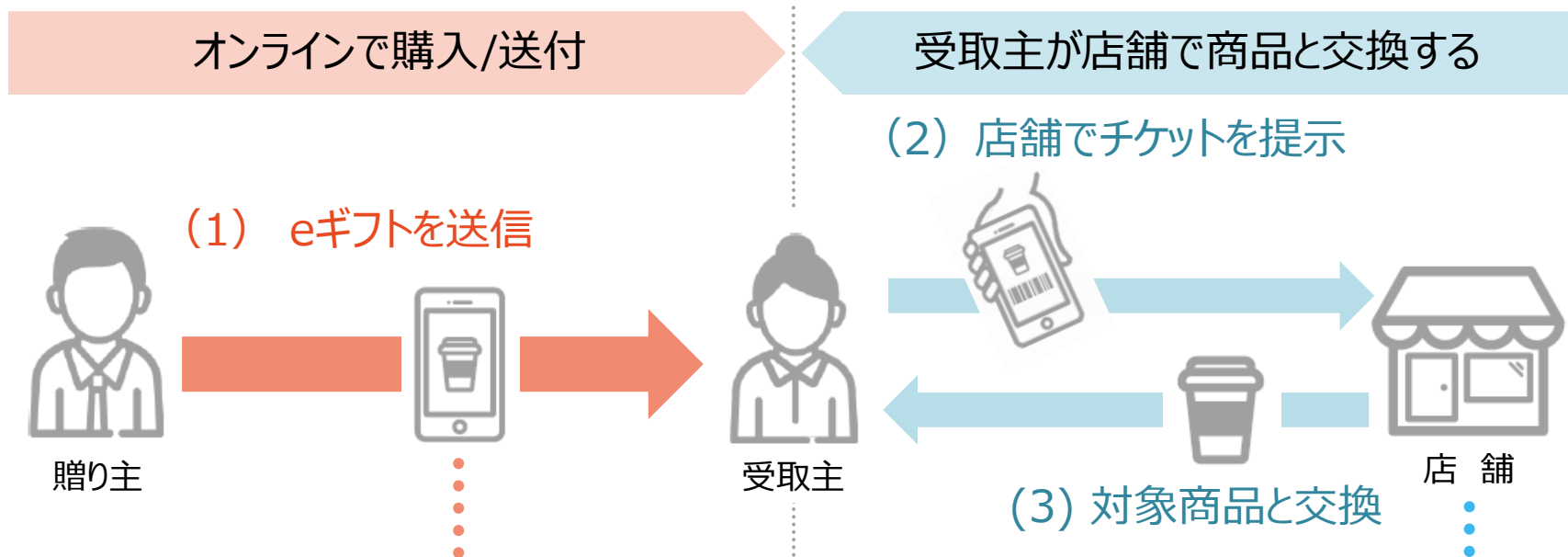


V. 事業とサービスの概要

〔 P53、54を除き、2019年12月期通期決算説明資料より再掲〕

eギフトとは

「eギフト」とは、飲食・小売店舗等において、商品やサービスと交換することができる電子チケットです。



メールやSNSで簡単送信

近くの店舗で交換

eギフトとは ラインナップ

50円から選べる200種類以上のラインナップ

100円のコーヒー、ギフト券、カタログギフト、数万円の旅行券ほか、多数。

コンビニ商品



コーヒー
100円



ロールケーキ
150円



ソフトクリーム
220円



エナジードリンク
205円

その他店舗系



ドリンクチケット (500...
Starbucks Coffee Japan
¥500



レギュラーシングルギフト...
サーティワン アイスクリーム
¥390 (税込)



ギフトチケット (200円)
ミスタードーナツ
¥200



すかいらーくご優待券
¥1,000
すかいらーくご優待券 (...
すかいらーく
¥1,000

デジタル系



App Store & iTunes
ギフトカード
(デジタルコード)
120円~1万円



Amazonギフト券
50円分~10万円分



ギフトプレモ
100円~



QUOカードPay
200円分~

Amazonおよびそのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

eギフトとは 特徴

eギフトはユニークなURLで発行。

受け取りにアプリのダウンロードや会員登録の必要はなく、すぐにギフトの交換が可能。

受取手は、送られたeギフトのチケットを店舗で提示し、

ギフトと交換利用されたチケットは「消込」という処理をすることで利用済みとなる。

- ✓ eGiftのURLをメールやSNSで送るだけで完結！
- ✓ リアルタイムに「消込」することで、不正利用を防止



「eギフトプラットフォーム事業」として、4つのサービスを展開

① gifteeサービス 個人向け

ちょっとしたお礼やお祝いの気持ちを伝えたい時、相手の住所が分からなくても気軽にギフトを贈れるサービス。LINEやFacebookで繋がっている友達に、カフェやコンビニの商品をプレゼントできる。

【会員数】 138 万人

② giftee for Businessサービス 法人向け

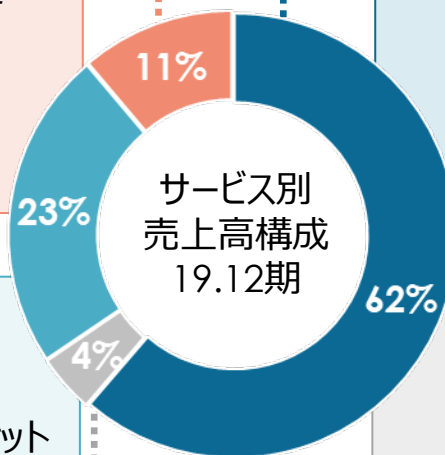
法人が自社の顧客に対し、キャンペーンプレゼントやアンケート謝礼としてeギフトを送付できるサービス。

【DP数】 643 社
DP：ディストリビューションパートナー

③ eGift Systemサービス 小売店向け

店頭で引き換えることのできるデジタルのギフトチケットの生成と配信、およびそのギフトチケットを自社サイト上で販売できるシステム。「スターバックスコーヒー」「ローソン」「ミスタードーナツ」等へ導入済み。

【CP数】 89 社
CP：コンテンツパートナー



④ 地域通貨サービス

■ Welcome! STAMP
地域通貨の電子化事業等



【事例】
しまとく通貨（長崎県離島市町）
しまぼ通貨（東京都島しょ地域）
e街ギフト、旅先納税システム（瀬戸内市）
駅から観タクン（JR東日本）

* 会員数、CP数は2019年12月末現在。
DP数は2019年12月期通期のユニーク利用企業数。

発券から流通まで一気通貫で提供する、eギフトのプラットフォームを構築

eギフトプラットフォーム

発券

CP/Contents Partner
eギフト発行企業

流通

DP/Distribution Partner
eギフト利用企業

飲食・流通・小売企業

③ eGift Systemサービス



④ 地域通貨サービス

eギフト発行会社自社サイト



① gifteeサービス

giftee*

提携企業



個人向け

② giftee for Businessサービス

giftee*
for Business

保険

インターネット

カード

銀行証券

自動車

等

法人向け

サービスの概要

個人向け

① gifteeサービス

giftee*

「カジュアルに」「気軽に」「スマートに」をコンセプトに、簡単にLINEやメールでギフトを送れるサービス

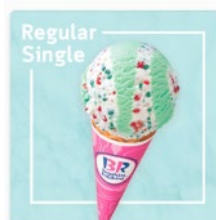
会員数138万人※のカジュアルギフトサービス

※2019年12月末現在

(1)
ギフトを選択



ドリンクチケット (500円)
Starbucks Coffee Japan
¥500



レギュラーシングルギフト...
サーティワン アイスクリーム
¥390 (税込)



ギフトチケット (200円)
ミスタードーナツ
¥200

等

(2)ギフトカード作成

(3)決済

(4)URLを送信

(5)店舗で交換



決済方法を選ぶ

- ご登録済クレジットカード
*****1111 (有効期限: 07/2019)
- 新規クレジットカードを利用する
- auかんたん決済
- ドコモ払い
- ソフトバンクまとめて支払い・ワイモバイルまとめ...
- JCB PREMO決済

ギフトカードの準備が出来ました

注文番号: 20150814551621160311

- LINEで贈る
- メールで贈る
- Facebookで贈る
- Twitterで贈る
- URLだけコピーする



近くの店舗で交換



にゃんたさんからのギフト

この同はありがとう！

キャンペーン等で自社のユーザーにギフトを付与するシーンで利用可能なサービス
低コスト、かつ効果の最大化を可能にする新たな販促市場を開拓

発券 (CP)

流通 (DP)

giftee*
for Business

保険

インターネット

カード

銀行
証券

自動車

等



参加者

多様な商品



URLで納品

	A
1	ギフトURL
2	http://giftee.co/rb/cuau;
3	http://giftee.co/rb/5vs86
4	http://giftee.co/rb/bnhse
5	http://giftee.co/rb/vb4fp
6	http://giftee.co/rb/zhdyl
7	http://giftee.co/rb/2pr4
8	http://giftee.co/rb/jdndsd
9	http://giftee.co/rb/st2ler
10	http://giftee.co/rb/o1kitf
11	http://giftee.co/rb/44sf9
12	http://giftee.co/rb/8mqz
13	http://giftee.co/rb/o6um
14	http://giftee.co/rb/zy5vc
15	http://giftee.co/rb/a2oh;
16	http://giftee.co/rb/q9uzc
17	http://giftee.co/rb/gucti;
18	http://giftee.co/rb/en6sii
19	http://giftee.co/rb/sw8di
20	http://giftee.co/rb/ne5is9
21	http://giftee.co/rb/ymru;
22	http://giftee.co/rb/wrjgn

資料請求・
見積り謝礼

アンケート
謝礼

Twitter
キャンペーン

LINE
キャンペーン

ポイント
交換

来店促進
キャンペーン

giftee for Businessの付加サービス

eギフトを活用したキャンペーンのツールをgiftee for Business利用企業（D P）に安価で提供。



Twitterインスタントウィン

フォロー&RTなどの条件に応じて、当選者にはその場で賞品をプレゼントすることが可能。



LINEインスタントウィン

開発負担ゼロでLINE上でその場で賞品が当たるインスタントウィンキャンペーンを実現。



抽選eGift

URLの配信のみで当落結果がその場で分かり、当選者にはその場で賞品を付与するキャンペーンを実施可能。



giftee for Business カードタイプ

デジタルギフトを印刷したカードタイプで納品。



アンケート

アンケート回答後にその場で賞品をプレゼントします。アンケートツールから賞品まで一気通貫で提供可能。



来店認証システム

店舗やイベント会場に来店・来場した人へのみ、デジタルギフトを渡すことができるO2Oキャンペーンツール。

従来のインセンティブ配布に比べて、様々な効率化が図れるだけでなく、新たな施策の実施が可能

メリット1



キャンペーンのコスト削減

- ◆ 在庫管理が不要
- ◆ 配送費・人件費の削減が可能



低コストでキャンペーンを実施

メリット2

同じ予算内で当選者数を最大化

- ◆ 50円～の小額インセンティブを付与することができる
- ◆ 当選者数を増やし、参加モチベーションアップ



参加者数も最大化

メリット3

段階的プロモーションの実現

- ◆ コストと手間がかからないため、段階的に小額のインセンティブを付与することが可能

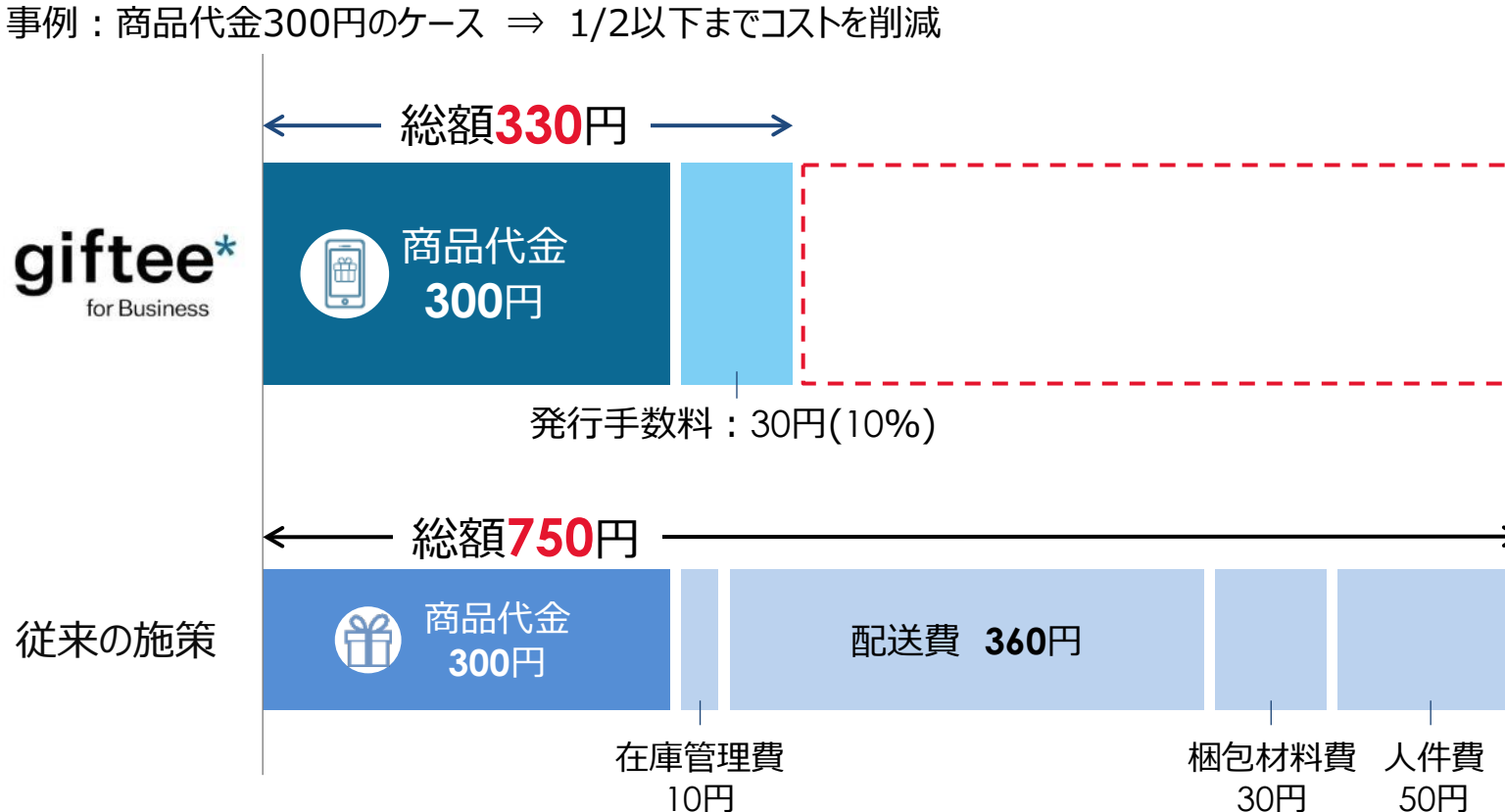


参加モチベーションの向上

メリット1 キャンペーンのコスト削減

人件費、配送費、在庫管理コストがかからず、従来コストを大幅に削減した販促を実現

事例：商品代金300円のケース ⇒ 1/2以下までコストを削減



メリット 2 同じ予算内で当選者数を最大化

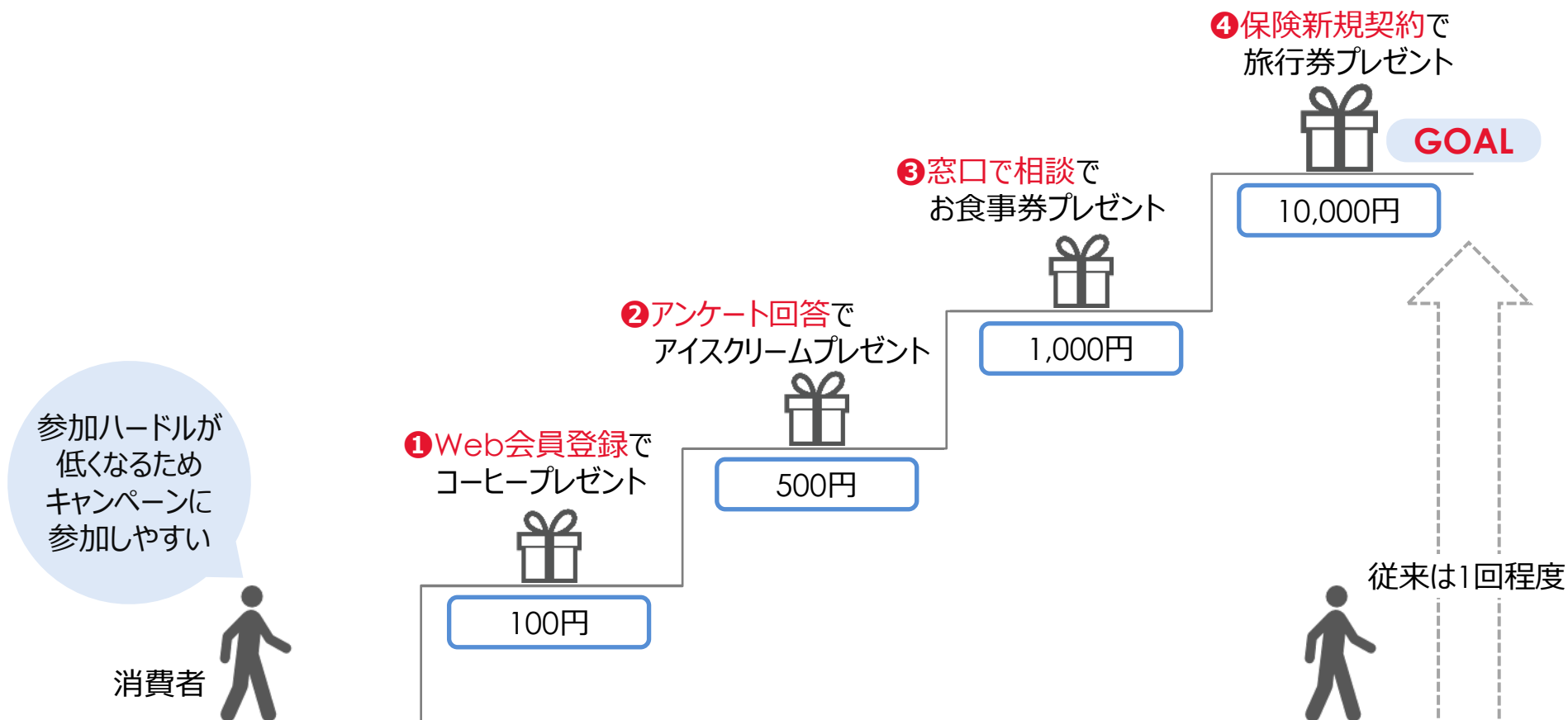
当選者数 **100** 倍の事例



- ✓ 当選者数を増やし、参加モチベーションをあげることで、参加者数も最大化をすることができる

メリット3 段階的プロモーションの実現

コストと手間がかからないため、段階的に小額のインセンティブを付与することが可能
その場でプレゼントするリアルタイム効果で、キャンペーン参加モチベーションの向上も同時に実現



「eGift System」とは、eギフトを即時に発行および消込をするシステム
 飲食/流通/小売企業などのeギフト発行企業(CP)に提供。

eGift System

発券 eギフト発行企業 (CP)

流通 eギフト利用企業 (DP)

飲食・流通・小売企業

③ eGift System サービス



実績管理

④ 地域通貨サービス

個人向け

eギフト発行会社自社サイト



① giftee サービス

giftee*

提携企業



店頭での消込・決済

法人向け

② giftee for Business サービス

giftee*
 for Business

保険

インターネット

カード

銀行証券

自動車 等

③eGift Systemサービス 導入メリット

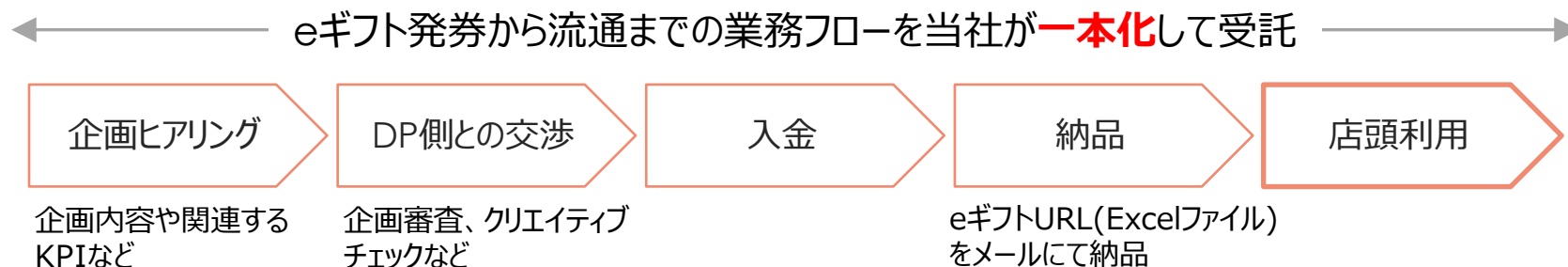
メリット1

多額の流通額、多数の流通先を持つ当社のプラットフォームを利用することで、飲食・流通・小売企業等はギフト需要の開拓が可能。



メリット2

eギフト流通に係る窓口一本化による、オペレーションの効率化



メリット3

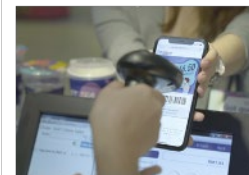
券面統一による店頭**オペレーションの効率化**

店頭で表示されるeギフトの券面を統一し、店頭のオペレーションを効率化。

eギフト券面



eギフトを店舗で提示



* 会員数、CP数は2019年12月末現在。
DP数は2019年12月期通期のユニーク利用企業数。

④地域通貨サービス他 ~Welcome! STAMP~

「Welcome! STAMP」は、地域活性プラットフォームとして従来紙やカードで発行されていた地域通貨(プレミアム商品券等)を、電子化(スマートフォンや携帯電話で購入・利用可能)し流通させるソリューションに加え、地域活性プラットフォームとして展開。



■ 地域通貨利用フロー



④地域通貨サービス 他 ～導入メリット・事例～

■ 導入メリット

メリット1

デジタルで完結するため、紙の商品券で発生する集計、請求、金券管理が不要。

メリット2

店舗側で準備が必要なのは電子スタンプだけ。
ネットワーク回線設備や決済端末の購入は不要。

メリット3

電子スタンプを押すだけの簡単な決済処理。



<電子スタンプ利用イメージ>

■ 導入事例

- 2016年10月 長崎県内の複数のしま市町で共通に使用できる「しまとく通貨」発行
- 2017年9月 東京都の11の離島で使用できる「しまぼ通貨」発行
- 2019年4月 長崎市中央地区商店街連合会「共通駐車券」の電子化
- 2019年10月 新潟市「駅から観タクン」4コースの発売開始
- 2019年11月 「瀬戸内市e街ギフト」・「旅先納税」スタート
- 2019年12月 沖縄県南城市観光型MaaS実証実験参加

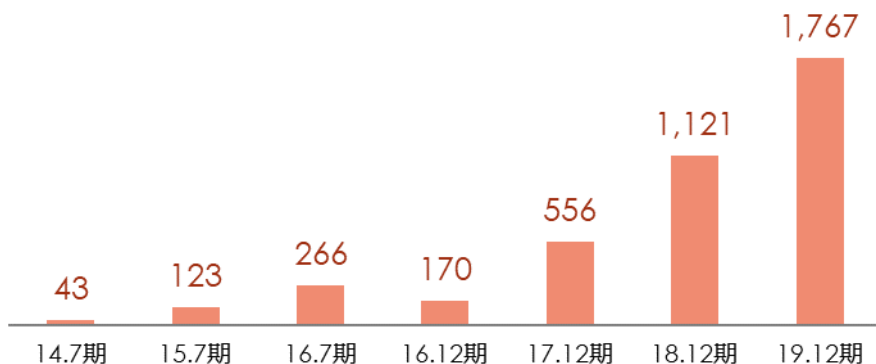
企業から販売手数料、システム利用料、発行手数料を受領。



Appendix

財務ハイライト（1）

売上高（百万円）



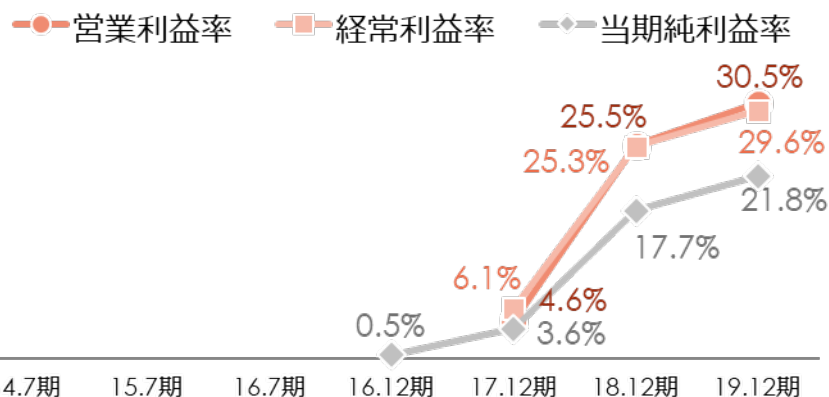
※17.12期までは単体、18.12期からは連結
 ※16.12期は決算期変更のため5カ月決算

利益（百万円）



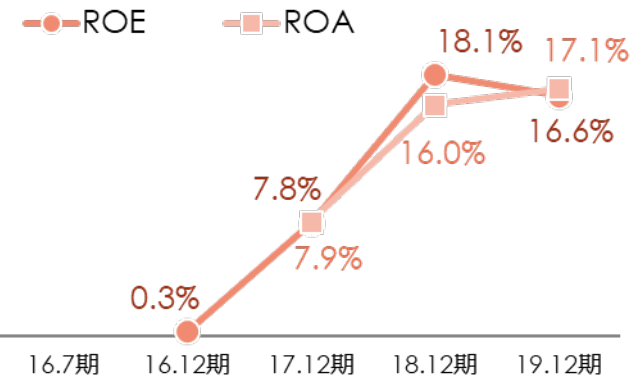
※17.12期までは単体、18.12期からは連結
 ※16.12期は決算期変更のため5カ月決算

利益率（%）



※17.12期までは単体、18.12期からは連結
 ※16.12期は決算期変更のため5カ月決算

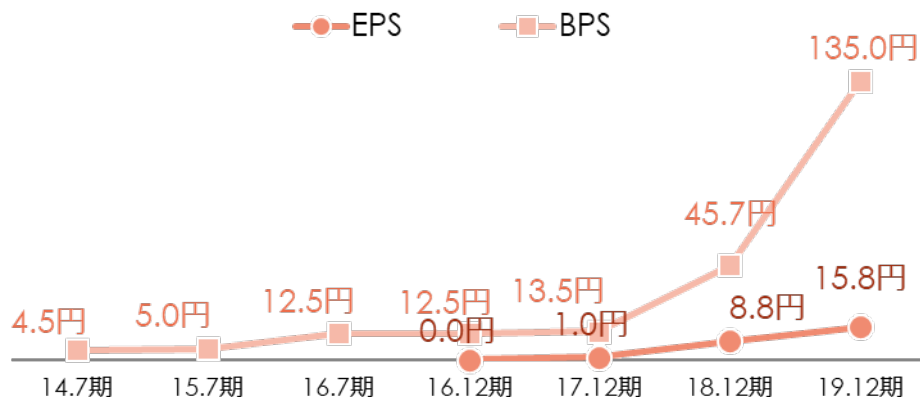
ROE・ROA（%）



※17.12期までは単体、18.12期からは連結
 ※16.12期は決算期変更のため5カ月決算
 ※ROA = 経常利益 ÷ 総資産額(期中平均)

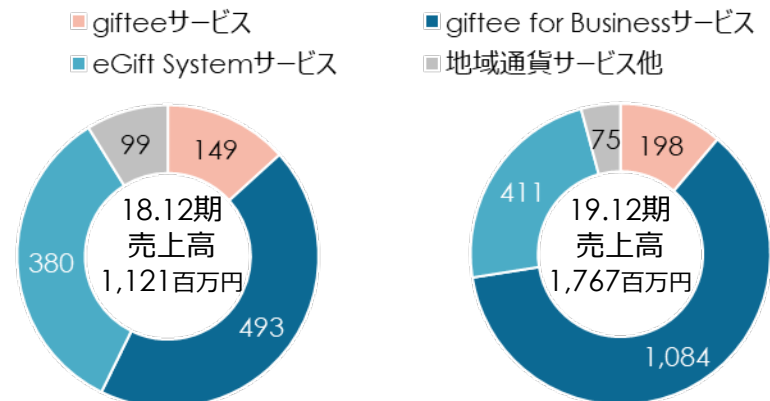
財務ハイライト（2）

EPS・BPS（円）

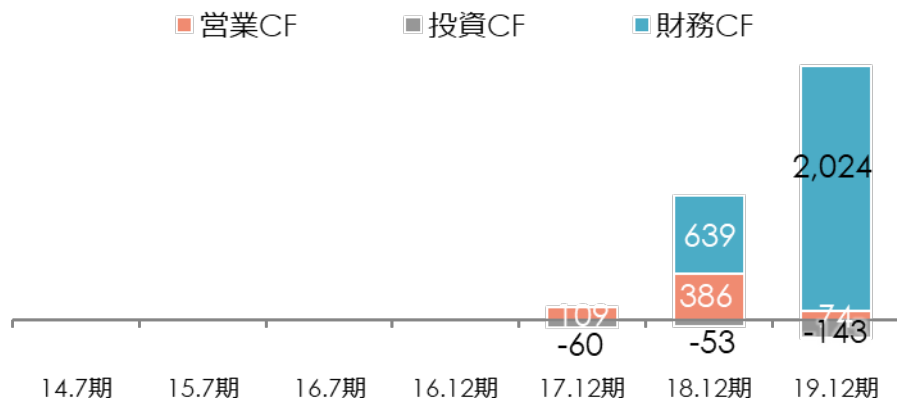


※17.12期までは単体、18.12期からは連結
 ※16.12期は決算期変更のため5カ月決算

サービス別売上高

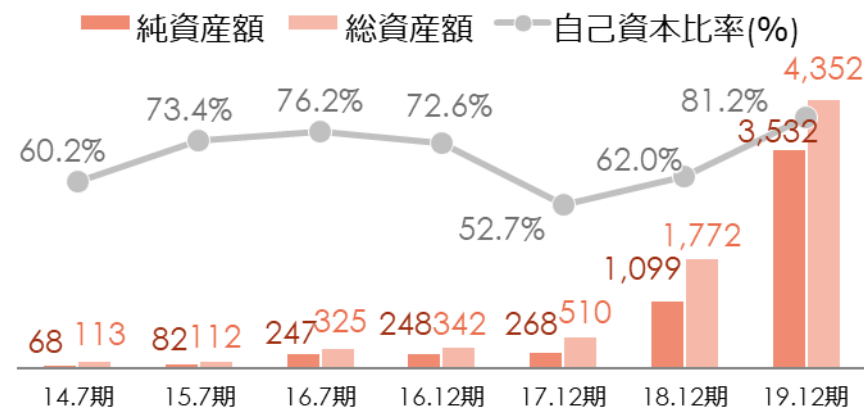


キャッシュフロー（百万円）



※17.12期までは単体、18.12期からは連結

総資産額・純資産額、自己資本比率（百万円、%）



※17.12期までは単体、18.12期からは連結
 ※16.12期は決算期変更のため5カ月決算



代表取締役CEO 太田 睦

1984年生まれ
慶應義塾大学総合政策学部卒

- 2007年
アクセンチュア(株)
公官庁の大規模開発業務に従事
- 2010年
(株)ギフトィを設立
代表取締役に就任



代表取締役COO 鈴木 達哉

1985年生まれ
一橋大学経済学部卒

- 2008年
(株)インスパイア
大企業の新規事業支援や
ベンチャー支援業務に従事
- 2011年
UXコンサルティング会社
(株)WACULの取締役に就任
- 2013年
当社の取締役に就任



取締役CTO 柳瀬 文孝

1980年生まれ
東京理科大学大学院
理工学研究科情報科学専攻修了

- 2007年
アクセンチュア(株)
アプリ開発、プロジェクト・マネジメント
に従事
- 2011年
当社の取締役に就任



取締役CFO 藤田 良和

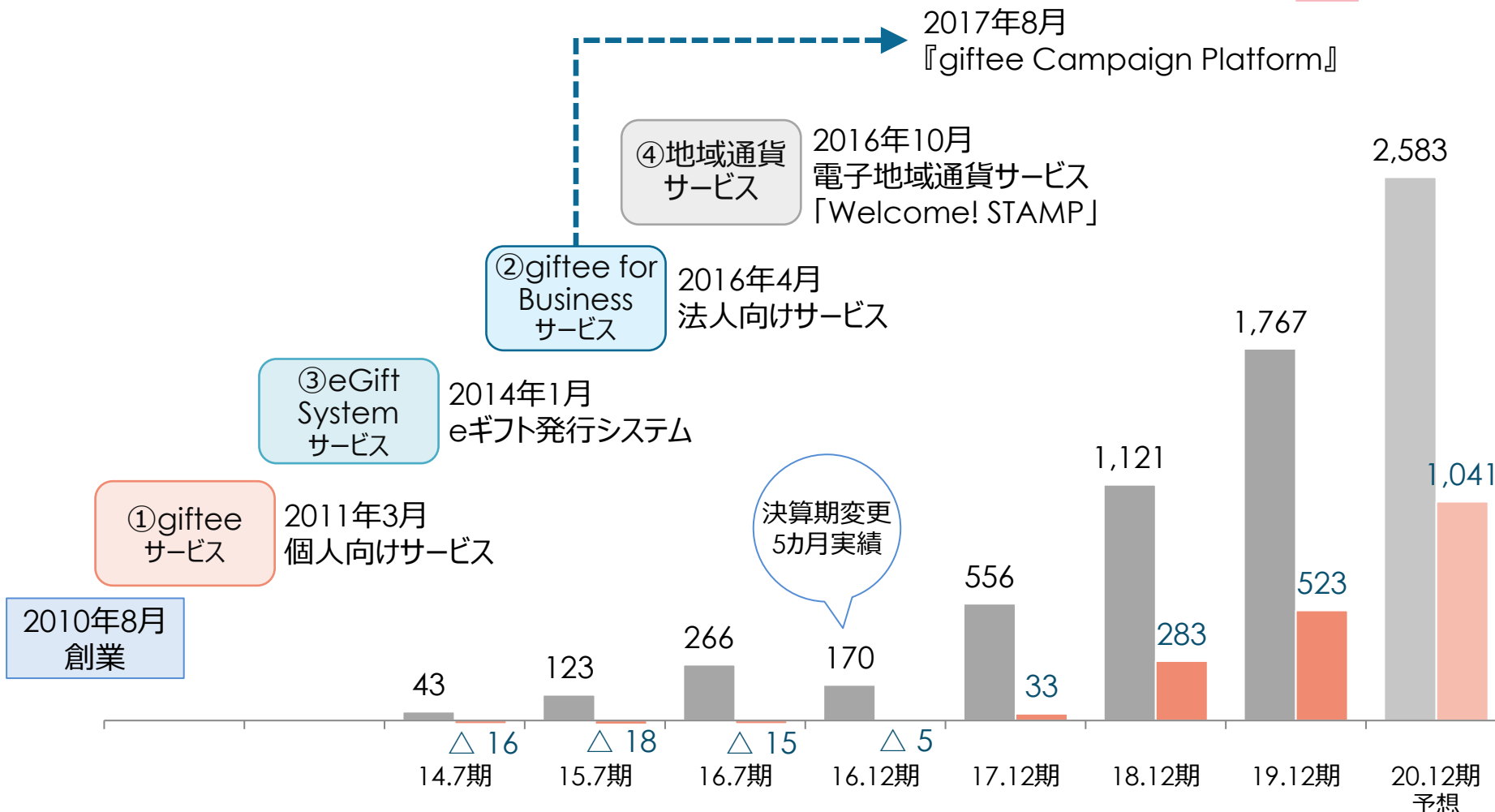
1986年生まれ
一橋大学経済学部卒業

- 2009年
野村証券(株)
M&Aアドバイザー業務に従事
- 2013年
オリックス(株)
自己勘定投資業務に従事
- 2017年
当社の取締役に就任

事業とサービスの概要 沿革と業績推移

eギフトのプラットフォームを構築しながら成長

■ 売上高 (百万円)
■ 経常利益 (百万円)



※17.12期までは単体、18.12期以降は連結
※16.12期は決算期変更のため5カ月決算

会社概要 (2020年6月末現在)

会社名	株式会社ギフトィ (英訳名 : giftee Inc.)
市場区分・コード	東証マザーズ 4449
所在地	東京都品川区東五反田5-10-25
設立日	2010年8月10日
事業内容	個人、法人、自治体を対象とした各種eギフトサービスの企画・開発・運営等
役員	代表取締役CEO 太田 睦 代表取締役COO 鈴木 達哉 取締役CTO 柳瀬 文孝 取締役CFO 藤田 良和 社外取締役 妹尾 堅一郎 社外取締役 中島 真 社外監査役(常勤) 工木 大造 社外監査役 秋元 芳央 社外監査役 植野 和宏
従業員数	114名
資本金	1,551,144千円
子会社	GIFTEE MALAYSIA SDN. BHD.

(ディスクレーム)

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競争、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。